

令和4年10月28日

第6学年保護者の皆様

横浜市立金沢小学校
校長 中山 光恵
第6学年 担任

令和4年度 全国学力・学習状況調査 ～金沢小学校の結果～

今年度6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の教科別の平均正答率や生活習慣・学習習慣の調査結果が公表されました。全国と比べた本校の調査結果の概要をお知らせします。

教科別学習状況調査(全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題)

【国語】

○全国平均正答率を上回った主な問題

- ・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉える
- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える

●全国平均正答率を下回った問題

- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う

【算数】

○全国平均正答率を上回った問題

- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉える
- ・図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している
- ・示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる

●全国平均正答率を下回った問題

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができる
- ・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる

生活習慣・学習習慣 質問紙調査結果(全国の割合と比較して特徴のある設問)

【生活について】

- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「人に役立つ人間になりたいですか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「人が困っている時、進んで助けていますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも低い。

【学習について】

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。

授業改善に向けて

- ・学習した漢字を正しく使うことが課題です。スキルタイムなどで漢字の定着を図るとともに、様々な文章や表現に触れ、語彙を増やせるようにします。
- ・学習した内容について、分からなかったところがそのままにならないよう、丁寧に声をかけていきます。

児童支援の充実に向けて

- ・話し合い活動を通じて、考えを深めたり広めたりするよさを実感している児童が多くいるようです。
- 互いの意見に共感したり、質問したりする場面を大切にしていきます。
- ・なかよし活動等の異学年交流や集団の中で、協力する機会を増やし、その中で助けるよさを捉えて、共有できるようにしていきます。